

総合エネルギー調査会原子力部会
中間報告書（案）

平成9年1月14日

— 目次 —

第一章 はじめに	1
第1節 我が国の原子力をめぐる状況	1
第2節 エネルギー需給の在り方と原子力の意義	2
第3節 本部会における検討の視点	5
第二章 国民の視点に立った原子力政策のための課題と対応	9
第1節 情報公開と国民の声の反映	10
1. 情報公開をめぐる現状と意義	10
2. 情報公開に関する今後の進め方	10
(1) 政策決定の透明性確保と国民の声の反映	10
(2) 行政情報の公開	11
(3) 事業者による情報公開	12
第2節 情報の提供と交流	13
1. 情報提供・情報交流の意義と課題	13
2. 今後の進め方	14
(1) エネルギー問題への意識醸成	14
(2) 立地地域・消費地等の情報交流	14
(3) エネルギー教育の充実	15
(4) 情報提供・情報交流の在り方	15
第3節 立地地域との共生	17
1. 現状と課題	17
2. 今後の進め方	18

第三章 核燃料サイクルをめぐる課題と対応	20
----------------------------	----

第1節 総論	20
--------------	----

1. 核燃料サイクルをめぐる現状	20
2. 核燃料サイクルに関する路線の選択肢と我が国の選択	22
(1) 我が国における長期的な原子力発電の重要性と核燃料サイクル	22
(2) 核燃料サイクルに関する路線の選択肢	22
(3) 長期的環境変化と我が国における核燃料サイクル路線の選択	23
3. 核燃料サイクルの進め方	25
(1) 核燃料サイクルの発展段階	25
(2) 今後の核燃料サイクル政策の進め方	26

第2節 プルサーマルの意義と進め方	29
-------------------------	----

1. プルサーマル計画とその現状	29
2. プルサーマルの意義	29
3. 安全性と経済性	30
(1) 安全性	30
(2) 経済性	31
4. プルサーマルの進め方	32

第3節 使用済燃料貯蔵問題	34
---------------------	----

1. 使用済燃料貯蔵の現状	34
2. 長期的見通し	34
3. 今後の対応	35
(1) 当面の対応	35
(2) 長期的対応	35

第4節 バックエンド対策の課題	37
-----------------------	----

1. バックエンド対策の現状と問題点	37
2. 今後取り組むべき課題	37

(参考)

- ・総合エネルギー調査会原子力部会委員名簿
- ・総合エネルギー調査会原子力部会ワーキング・グループ委員名簿
- ・総合エネルギー調査会原子力部会検討経過
- ・ワーキング・グループと立地自治体との意見交換の開催状況
- ・一日総合エネルギー調査会の開催状況

今回の会議にて配布した報告書は多量な資料の為、入手を希望される方は

通商産業省資源エネルギー庁原子力産業課

03(3501)1511 代表 にお問い合わせ下さい。

又、下記2機関においても閲覧・複写(有料)に応じております。

・**原子力公開資料センター**(東京都文京区白山5-1-3-101)

TEL 03(5804)8484 東京富山会館ビル6F

土・日・祝日、10/1日は休館

・**未来科学技術館**(東京都新宿区西新宿)

TEL 03(3340)1821 新宿三井ビル1F

第2・第4火曜日は休館